

あすけ通信

2018年
7月発行

25



香嵐溪のゴールデンウイーク

あすっこ紹介
鈴木将平さん・里奈さん



ゴールデンウイークの期間中、足助地内には美しい新緑に誘われて、多くの人が行楽に訪れました。香嵐溪広場や足助屋敷では「香嵐溪のゴールデンウイーク」と題して、木工教室・機織りや手仕事体験・アマゴのつかみ取り・クラフト市ほかたくさんイベントが催され、家族連れや若い人たちが賑わいました。(N・K)

香嵐溪の ゴールデン ウイーク

名スポット
ろじうらのカフェ バンバン堂
読者のみなさんの“声”

「思い出の風景
学校」について：
多く賢小での
日東醸造の「足助
仕込三河しろたま
り」の製造はピッ
クリ。御内小学校
のアートエリアは
すくくおもしろい。
／隣校になった学
校の今という企画
が良いと思います。



アンケート

「あすっこ紹介」
について：不便も
ある五反田かも知
れませんが、私は
もっともつと過疎
地と言われる所で
何十年前より山里
の絶景と生活に感
謝の毎日です。

みなさんから届
いたアンケートの
一部を紹介しま
す。QRコードで
スマホからアン
ケートに記入でき
ますので、是非お
送り下さい。

て：郷土愛による
夢の生き方に感涙
しました。／気に
なるお店でした。
ぜひ行ってみたい
と思えました。心
援したくなりました。
た。

読者のみなさんの声 あすっこ紹介

足助の 名スポット紹介



ろじうらのカフェ バンバン堂



営業時間：10時から17時 ラストオーダー16時
定休日：水曜日（臨時休業あり）
住所：豊田市足助町石橋34-6
電話：090-4257-7240
フェイスブック：<https://www.facebook.com/bangbangdou/>
足助中央駐車場に駐車された方は駐車場代が無料になるチケットがもらえます。



フェイスブック

足助の古い町並の路地裏にカフェがあるのをご存知でしょうか。その名も「ろじうらのカフェ バンバン堂」。カフェを開店する前に射的屋をやっていたところからこの名前になったそうです。
足助に移住されたご夫婦が空き家を改修し、2013年3月より開店しました。古いものが好きというご夫婦。古くても残せるものを残して改修された。そう、柱やスピーカー等、至る所にこだわりを感じます。身体に優しくおいしいものを提供したいとの思いから、メニューはすべて手作りだそう。毎月11日はカレーの日となっており、数種類のカレーを食べ比べることが出来ます。また季節限定のおひな弁当やかき氷も人気だそう。
カフェの他にも不定期で英語教室、ヨガ、整体、足つぼ等、ワークショップも開催しています。詳しくはフェイスブックで確認して下さい。
足助の古い町並みに溶け込んだ、レトロな雰囲気漂うお店。散策の一休みに立ち寄りてみてはいかがでしょうか。(Y・S)

あすっこ紹介

今回のあすっこは、大蔵地区在住の鈴木将平さん(31歳)・里奈さん(31歳)です。里奈さんは冷田地区出身です。お子さんたちとともに、将平さんのおじ



いちゃん、おばあちゃんもいっしょに来てくださいました。昨年の3月末にUターンされ、ご実家の敷地に家を建てて三世帯で住んでいらっしゃるようです。

戻って来るまではどうだった?

将平さん 高校卒業と同時に名古屋の専門学校に行き、接骨院の仕事に就きました。名古屋に5年、結婚して岡崎に3年居たのかな。その後、転勤で浜松に4年行ってました。

去年の3月末に大蔵に戻って来て、家を建てて、豊田市栄町で開業するという感じでした。

家を建てたときに補助制度を使いましたか?

将平さん 住宅、土地取得それぞれに50万円補助される住宅取得費補助金と、長期優良住宅補助金、合併浄化槽補助金を活用しました。実家の土地に建てたので土地取得の補助金は出なかったですけどね。

同じ敷地内に両親・祖父母と三世帯で住んでいます。母屋があって、両親が住んでいる別棟があって、その横に建てました。

Uターンのきっかけは?

将平さん 資格を取った時から、いずれは豊田で接骨院をやりたいと思っていて、30歳で戻って来ようと考えていました。浜松では頼れる人もいなくて、仕事で自分のやりたいことをするには、夫婦2人だけで子育てをしながらというのは無理です。妻も看護師として働いていたので、子どもたちにとってどういう環境が良いのかということ、僕らのライフスタイルを考えたときに、地域貢献していく上でもこっちに來ることが一番良いと思いました。

子育ては大変ですか? 里奈さん 今、子どもたちは足助もみじごも園の年少と年長です。私も仕事をしているので、ばあちゃんがこども園に迎えに行ってくれたりしています。夜ご飯は、母屋に集まってみんなで食べて、その後自分たちの家に戻ります。こっちに來たら、いーちゃん、ばあちゃん(義祖母)もいるし、子どもたちもちょっと大きくなったから、正社員で働かせてもらっています。いーちゃんも、ばあちゃん



んも、ほんとに元気だから、すごく助かっています。将平さん 子育てで困っている事は無いですね。イライラする時もあるし、言うことを聞かないとか、そういう意味ではあるかもしれないですけど。

上の子が大蔵小学校に入るときは同級生が4人になるのかな。人数が少ない分、先生の目は行き届くと思えますが、運動会や学芸会はちょっと寂しいですね。戻って来て良かったことは? 将平さん やっぱ、子どもにとつては良い環境ですよ。大蔵は交通量も普段はそんなに多くないし、大蔵という地域が遊び場です。外へ出て虫

を捕まえたり、公園なんか無くても、遊ぶところなんていくらでもある。日曜は小学校に行つて遊んでいます。川遊びもできるし、遠慮なくパーベキューもやれるし、言うことないですね。

Uターンを増やすには?

里奈さん 良いところって言うのと、やっぱり自然が豊かな所かな。のびのびと生活ができるし。ふと見ると空と緑とが、ほんとに癒されますね。縁側で寝転がったりとか。星空がすごく綺麗です。都会だとあんまり見えないから。結構周りに、同じくらいの年代で帰ってきている人はいますよ。

将平さん 足助出身の人ならば足助の良さは身に染みているはずなので、来たくても来れないと言つのは、仕事の都合がほとんどじゃないですか? 奥さんがまちな人と「足助はちょっと」という場合が多いのは事実ですね。同級生でも足助に帰って来たいと言つているのですが、どちらかと言つと、今は決定権が女性にあるのかもしれない。やっぱり僕も足助に住んだ以上は人が増えてほしいので、子育て世代を増やす施策をうまくやってもらえたらと思います。

みんなどこも孫が出て行っちゃうから、誰も戻って来てくれないだろうと思っていました。来てくれたので本当によかった。こんな小さい子(ひ孫)も居てくれるから、ありがたいと思っています。



戻って来るまではどうだった? 将平さん 高校卒業と同時に名古屋の専門学校に行き、接骨院の仕事に就きました。名古屋に5年、結婚して岡崎に3年居たのかな。その後、転勤で浜松に4年行ってました。

去年の3月末に大蔵に戻って来て、家を建てて、豊田市栄町で開業するという感じでした。

鈴木将平さんが開業された 『整骨院 REYL (レイル)』
 —地域、社会のために心と身体を健康に— ケガをした方が安心して来られる整骨院
 「REYLってどういう意味?」とよく聞かれます。「Recovery + Enrich Your Life」の頭文字です。お客様のケガや悩みを回復させ人生を豊かにしたいという思いを込めました。一人でも多くの困っているお客様の心と身体を健康にし、社会貢献して行きたいと考えています。
 住所: 豊田市栄町5丁目2-1 三宅ビル1F
 電話: 0565-33-5321
 エキテン情報: https://www.ekiten.jp/shop_74518290/
 ホームページ

(N・T)